

地域活動支援センターふれあい これからの予定

カラオケ
1月9日(木)
みんな大好きなカラオケ♪
楽しく歌いましょう♪

DVD鑑賞
1月16日(木)
視聴覚室でDVDを
鑑賞します。

オープンデー
1月23日(木)
体験会を兼ねた理事さん
との交流会です。

ふれあい交流会
2月13日(木)
音楽の交流会です。
ふれあいでは手話歌を
披露します♪

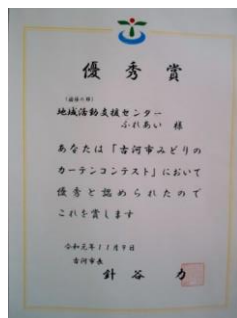
みどりのカーテンコンテストで優秀賞をいただきました♪

今年も古河市の「みどりのカーテンコンテスト」に応募しました。今回で3回目に成ります。前々回、前回と優秀賞、最優秀賞とトップクラスの実績を頂いたため、今年少し力が入りました。古河市からは10株のゴーヤの苗を頂きましたが、もちろんこれだけでは足りませんので、ファームの方にもご協力をして頂き36株ほどのゴーヤで緑のカーテンを実施いたしました。



7月の冷夏で育ちが悪く、実のなりも悪く、大変心配しましたが、後半の暑さで持ち直し今年も優秀賞を頂く事が出来ました。3年連続の快挙です。

皆さんが交代で、水やりや草取りを一生懸命やってくれたおかげです。(支援員 O)



12月17日(火)ほっと cafe 店内で児童発達支援センターぐるんぱ様の給食会が開催されました。

4月から毎月1回行われ、今回で7回目になります。今回は、園児4名、保護者4名、保育士4名、合計12名の参加で約30分間、ゆったりとした雰囲気で行われました。

子供が自分でデザートのソフトクリームを頼み、帰る時にも自分でチケットを渡して会計をしていく。初めはバタバタする事も多い、給食会でしたが、ホール担当の通所生2人もだいぶ慣れて、良い感じで終われたと思います。

みなさん、いつもご協力ありがとうございます。(ほっと cafe Y)

発行日 2019年12月 特定非営利活動法人ふれあい
〒306-0044 茨城県古河市新久田2-7-1 古河福祉の森会館内
☎/fax 0280-48-5878 e-mail info@fureai-net.org http://fureai-net.org

ふれあい通信



50号

12月

第11回ふれあいフリーマーケット

2019.11.16開催

恒例のふれあいフリーマーケットも今年で11回目を迎えました。穏やかな小春日和の中、朝早くから多くの出店者でにぎわいたくさんのお店が並びました。9時の販売開始でお客さまが大勢館内を歩き回り、ふれあいのcafeのブースではケーキやワッフルが好評でした。



玄関ロビーではナープアリオによるフラダンスとココナツクラブのハワイアン演奏が行われました。華やかな2組の登場で会場は一層賑やかになりました。



Koga 障がい者フォーラム2019

— 12月15日 —

記念講演を拝聴して

2005年4月に「発達障害支援法」が施行(2016年改正)され、発達障害それぞれの特性やライフステージに応じた支援を行うことができるようになった。

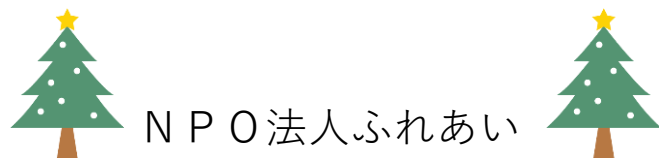
しかしまだまだ認知度が低く理解されにくい発達障害の困難さについて、ご自身と三人のお子さんも発達障害と診断された今回の講師、笹森理恵さんの「感じてみませんか、発達障害の世界」を拝聴した。

どういった場面で困難さを感じるのか? どういった支援が当事者の負担を少なくできるのか? 具体例を交えながらのお話は大変参考になった。「困難さ」をあらわすことが難しい当事者に、支援者は丁寧なかかわりを持ちながら当事者の経験値を増やすこと。それによって「自己選択」「自己決定」の幅が増えていくと感じられた。

発達障害を描いたとされる絵本「おこだでませんように(くすのき しげのり:著 石井 聖岳:絵)」の作者くすのき氏のコメントにこう記してある。

『お母さんや先生や友だちに言うのではなく、七夕様のお願いの短冊に、一文字一文字けんめいに書いた「おこだでませんように」。このお話の「ぼく」にとって、それは、まさに天に向けての祈りの言葉なのです。子どもたち一人一人に、その時々で揺れ動く心があります。そして、どの子の心の中にも、祈りのような思いがあるのです。私は、そんな子どもたちの心の動きや祈りのような思いに気づくことができる大人でありたいと思います』

私も当事者の困難さに寄り添い、当人が障害を感じる時間を少なく出来るような支援者でありたいと思う(支援員 Y)



ナイスハートふれあいフェスティバル2019 — 12月7日 —

あいにくの雨の中、買い物もあまりできず、それでもお目当てのシイタケを買うことができ楽しい一日となりました。茨城県連の役員の方にも会ってご挨拶し、県民文化センターは「ザ・ヒロサワシティ会館」となっていてちょっとびっくり。雨の中レンコンカレーを買うために並んで館内まで持ち込んでやっと食べました。美術展では、係の人に良いと思う作品を選ぶよう頼まれ、大ホールステージでは磯山純さんの歌を聴き、また20名の子供たち「ばんびーに」によるミュージックケアの歌や踊りも見ることができました。バスの中は明るく和やかでした。(M理事)

茨城県精神障害者支援事業者協会 第10回総会 — 11月13日 —

11月13日(水)茨城県精神保健福祉センターにて開催しました。今回の主要行事は平成30年度の事業報告と決算報告並びに令和元年の事業計画、事業報告でした。両議案とも会一致で承認されました。そのあと、専門部会別の報告会があり無事終了したことをご報告致します。(W理事)

第10回ふれあい交流会

2月13日(木)

13:30~15:00

古河福祉の森会館 視聴覚室

☆ 参加費100円(おみやげ付き) ☆

和太鼓・ハンドベル・手話歌などいろいろな音楽で楽しい時間を過ごしましょう
終了後はほっと cafe にて飲み物とお菓子をどうぞ!

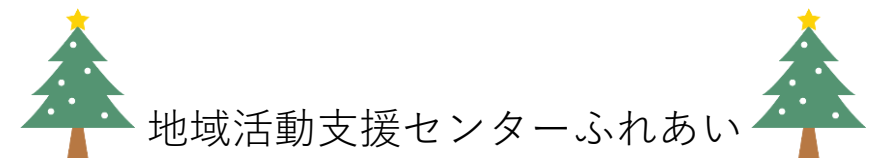


ふれあいではアルミ缶の回収をしています。
集められたアルミ缶の売上は利用者や障害者の家族の為に使われます。ぜひご協力ください。

引き続き アルミ缶のみ 回収します
ふれあい 資源回収の会
売上金は ふれあい利用者や障害者の家族の為に使われます
回収にご協力いただきありがとうございました。アルミ缶が一定量に達したら、業者さんが引き取りに来てくれます。今後もご協力をよろしくお願いいたします。
アルミ缶は 軽く水洗いして、つぶしてから 虹色ファームへお持ちください
アルミ缶

理事会報告

日時	主な内容
11月11日(月)	ふれあいの運営状況 フリーマーケット最終確認 今後の事業計画
12月19日(木)	ふれあいの運営状況 理事の役割分担報告 年末、年初の事業進捗報告



11月

第11回ふれあいフリーマーケット 11月16日(土)

11月16日、古河福祉の森会館にて第11回ふれあいフリーマーケットが開催されました。天気も良く、沢山のお客様にご来場いただきました。ほっとCafeからはちらし寿司やお汁粉、大福やコーヒーなどを販売しました。今回は休憩所としてご利用いただいていたほっとCafe店内でのコーヒー販売も好評でコーヒーの粉が足りなくなるハプニングもありましたが、無事に終了することができました。(支援員H)



出前講座「災害に日頃から備えるためには」&ふれあい保護者会

今回は保護者会と出前講座を合同で開催させて頂きました。11月25日(月) 家族会や保護者などふれあい関係者約30名が受講し、受講後は、「避難場所」「避難時のルート」「近所の方々との声掛け」などを再確認する。との声がありました。「自分の身は自分で守る！」そのために、日頃の備えと意識が必要だと学びました。また、先日の台風の被害や現場の緊迫した状況もお話ししていただきました。障がいを持つ方の避難先についても今後の課題にして頂きました。誰もが避難しやすい環境作りを願います。保護者会では、家族会の皆さんにも加わっていただき平日にも関わらず沢山の皆様にご出席頂きスタッフ一同感謝申し上げます。(支援員S)



12月

令和元年度ふれあい望年会 12月23日(月)

12月23日(月)に令和元年度の望年会が、NPO、家族会、保護者会、ボランティア、の方々をお客様に迎え、盛大に行われました。Y施設長の司会のもと、武田副理事長の挨拶に始まり、NPOの代表、家族会の代表、保護者会の代表、ボランティアは、カレー作り、ファーム、手芸部それぞれの代表、そして社会福祉協議会の亀田様の挨拶と続き最後に理事長の「全ての人に支えられてふれあいが成り立っています」という挨拶でセレモニーは終わりました。アトラクションでは支援員とドライバーのコンビ「チャーリー&エビ」によるミニコンサートと思い出のスライド上映が行われ、1年を振り返り、名前の通り来年に希望をつなぐ望年会となりました。最後に全員で支援員の愛情のこもった昼食を頂き中村理事のイッポン締めで無事に終了しました。(支援員O)

